

～「生み出す」から「育む」そして「地域に根づく」～

全国宅老所・グループホーム 研究交流フォーラム2004

ながの発：「新たな地域づくりを発信する街かど福祉を求めて」

趣 旨

痴呆になっても、住み慣れた地域のなかで、なじみの関係や近隣とのつながりを切り離すことなく暮らし続けたい。そんな、これまでの日常に、寄り添うことで願いをかなえたい、という思いから出発した宅老所やグループホームの実践は、少しずつ社会的な理解を得てきました。

その延長線上で必然のように、通って、泊まって、家にも来てくれて、いざとなったら住むことのできる「地域密着・小規模多機能ホーム」や、高齢者や障害者、子どもが地域の中でともに過ごす場としての共生ホームが生まれてきました。

また、大規模施設におけるユニットケアや逆デイサービス、サテライトケアなどにも大きな影響を与えてきました。

今夏に発表された報告書「2015年の高齢者介護」では、宅老所やグループホームから広がった新しい実践が紹介されるとともに、それらがこれからの高齢者介護の中核に据えられるなど、宅老所やグループホームの実践は、私たちの国の高齢者福祉に大きな変革をもたらしてきました。

7回目となる今回のフォーラムでは、地域福祉の視点をもって、特に次の3点について重点的に議論を深め合います。

1. 高齢者も障害者も子どもも、地域住民とともに住み慣れた地域のなかで暮らすことを支援する長野県の「宅幼老所」事業の紹介とともに「街かど福祉」とは何かを議論します。
2. 住み慣れた地域のなかで、24時間365日の暮らしを切れ目無く連続して支援する、「地域密着・小規模多機能」の本質とサービス提供のあり方を掘り下げ制度の可能性を考えます。
3. これからの高齢者の暮らしと住まいを考えるとともに、宅老所やグループホームにおける終末期のあり方を深めます。

【開催日】 2003年12月6日(土)11:50 ～ 7日(日)16:00

【会 場】 長野県県民文化会館 他

【主 催】 「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム2004」実行委員会
宅老所・グループホーム全国ネットワーク
長野県宅老所・グループホーム連絡会

【共 催】 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会
地域サテライト推進プロジェクト

内 容（日程）

第1日目 12月6日（土）

12 月 6 日	時 間	内 容			
	11:00	受 付			
	11:50～12:05	開 会 主催者挨拶 来賓祝辞			
	12:05～13:35	ディスカッション 1 「ながの発：街かど福祉の拠点！宅幼老所」 パネラー 宅老所 おらほ（長野県） 代 表 笹 谷 祐 輔 長野県宅老所・グループホーム連絡会 会 長 田 中 正 廣 伊那市保健福祉部 係 長 橋 爪 哲 雄 長野県社会部高齢福祉課 係 長 花 岡 和 友 コーディネーター 特別医療法人 恵仁会 中込介護事業部 部 長 竹 重 俊 文			
	13:35～14:15	特別講演 長野県 知 事 田 中 康 夫			
	14:15～14:35	休 憩			
	14:35～16:20	ディスカッション 2 「街かど福祉の拠点 地域を支える小規模ケア」 パネラー のぞみホーム（栃木県） 代 表 奥 山 久美子 コスモスの家（神奈川県） 理事長 渡 辺 ひろみ このゆびとーまれ（富山県） 代 表 惣 万 佳代子 サポーター 厚生労働省老健局介護保険指導室 室 長 石 黒 秀 喜 コーディネーター 大阪府立大学社会福祉学部 専任講師 藤 井 博 志			
	16:20～16:40	休 憩			
	16:40～18:30	特別セッション 「街かど福祉で支える高齢者の暮らしと住まい」 パネラー 長野県宅老所・グループホーム連絡会 副会長 宮 島 渡 全国痴呆性高齢者グループホーム協会 常任理事 長 井 巻 子 宮城県 知 事 浅 野 史 郎 佐賀県 知 事 古 川 康 厚生労働省老健局 局 長 中 村 秀 一 コーディネーター 全国社会福祉協議会 事務局長 和 田 敏 明			
	19:30～21:30	交流会			

第2日目 12月7日(日)

12月7日	時 間	内 容
	9:00～10:40	<p>ディスカッション3</p> <p>「徹底討論！小規模ケア施設のターミナルケア実現に向けて」</p> <p>パネラー</p> <p>矢島診療所（長野県） 所 長 矢 島 嶺</p> <p>小山城北クリニック（栃木県） 院 長 太 田 秀 樹</p> <p>このゆびとーまれ（富山県） 副代表 西 村 和 美</p> <p>サポーター</p> <p>厚生労働省老健局計画課 課長補佐 館 石 宗 隆</p> <p>コーディネーター</p> <p>東北福祉大学総合福祉学部 教 授 高 橋 誠 一</p>
	10:40～11:00	休 憩
	11:00～12:50	<p>総合ディスカッション</p> <p>「地域に住み続けるために、24時間・365日 切れ目のない小規模多機能サービスを考える」</p> <p>パネラー</p> <p>第2宅老所よりあい（福岡県） 所 長 村 瀬 孝 生</p> <p>季刊「痴呆性老人研究」 編集長 泉 田 照 雄</p> <p>宅老所・グループホーム全国ネットワーク</p> <p>代表世話人 川 原 秀 夫</p> <p>厚生労働省老健局振興課 課 長 香 取 照 幸</p> <p>サポーター</p> <p>川崎幸クリニック 院 長 杉 山 孝 博</p> <p>コーディネーター</p> <p>大阪大学大学院 教 授 大 熊 由 紀 子</p>
	12:50～14:00	休 憩 （ 昼 食 ）
	14:00～16:00	<p>分科会</p> <p>【第1分科会】小規模ケア施設：開設編</p> <p>～ どんな準備が必要なの？ ～</p> <p>パネラー</p> <p>グループホーム美里（茨城県） 代 表 中 村 香 代</p> <p>デイホーム笑実里（千葉県） 理事長 猪 早 恵 美 子</p> <p>宅老所ひなたぼこ（長野県） 代 表 小山内 貴代美</p> <p>サポーター</p> <p>宅老所・グループホーム全国ネットワーク 世話人 矢 山 修 一</p> <p>コーディネーター</p> <p>静岡県宅老所・グループホーム連絡協議会 代 表 奥 田 真 美</p>

12 月 7 日	14:00～16:00	【第2分科会】急増！グループホーム：実践編 ～ 問われる「ホームの理念」・「介護の質」・「地域密着」 ～		
		パネラー		
		銀河の里（岩手県）	理事長	宮 沢 健
		にこにこハウス（長野県）	管理者	小 島 つる江
		真田グループホーム（長野県）	代 表	清 水 俊 子
		サポーター		
		サンライフたきの里（石川県）	施設サービス部長	東 裕 紀
		コーディネーター		
		ケアホーム家族の家グループ（群馬県）	代 表	渡 邊 高 行
		【第3分科会】小規模デイホーム：実践編 ～ 高めよう「ホームの理念」・「介護の質」・「地域密着」 ～		
		パネラー		
		宅老所いいせ（長野県）	代 表	平 林 祐 子
		宅老所 きくちゃん家（長野県）	代 表	安 川 祐 子
		はじめのいっぽ（愛知県）	代 表	野 上 美千代
		サポーター		
		国際医療福祉大学医療福祉学部	専任講師	山 口 光 治
		コーディネーター		
		宅老所・グループホーム全国ネットワーク	世話人	中 村 大 蔵
		【第4分科会】小規模多機能ホーム：その可能性を探る ～ 考えよう「ホームの理念」・「介護の質」・「地域密着」 ～		
		パネラー		
		デイホーム手のひら（栃木県）	代 表	沼 尾 栄 子
		今井あんきの家（愛知県）	施設長	村 田 恵 子
		光明の家（兵庫県）	施設長	平 眞 弓
		サポーター		
		厚生労働省老健局計画課	課 長	石 井 信 芳
		コーディネーター		
		季刊「痴呆性老人研究」	編集長	泉 田 照 雄
		【第5分科会】地域共生ホーム：地域で支え合う街かど福祉 ～ 高齢者・障害者・幼児が寄り添うホームを目指して ～		
		パネラー		
		かいご家（長野県）	代 表	漆 戸 徳 弥
		かりがね学園（長野県）	園 長	樋 口 俊 文
		デイケアハウスにぎやか（富山県）	代 表	阪 井 由佳子
		たすけあい佐賀（佐賀県）	代 表	西 田 京 子
		サポーター		
		長野県社会福祉協議会地域福祉課	課 長	美谷島 越 子

12 月 7 日	14:00～16:00	<p>コーディネーター 大阪府立看護大学 講 師 佐 瀬 恵美子</p> <p>【第6分科会】誤解されているユニットケア：これがユニットケアの本質！ ～ ユニットケアへの“想い”を語ろう ～</p> <p>パネラー 東北工業大学建築学科 高齡者福祉総合施設ももやま（京都府） 介護保険総合ケアセンターいずみの園（大分県） 講 師 石 井 敏 施設長 山 田 尋 志 介護課長 岩 崎 深 雪</p> <p>サポーター 厚生労働省老健局計画課 課長補佐 石 原 美 和</p> <p>コーディネーター 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代 表 武 田 和 典</p> <p>【第7分科会】ネットワークで確保する小規模ケア施設の質と自治体との協働 ～ 施設と自治体の“つながり”で目指す小規模ケア ～</p> <p>パネラー 千葉県宅老所・グループホーム連絡会 兵庫県宅老所・グループホーム連絡会 長野市保健福祉部高齡者福祉課 熊本県健康福祉部 事務局長 池田 徹 事務局長 松 本 邦 裕 係 長 庭 山 透 次 長 森 枝 敏 郎</p> <p>サポーター 全国社会福祉協議会 厚生労働省老健局計画課 地域福祉部参事 高 橋 良 太 課長補佐 中 井 孝 之</p> <p>コーディネーター 大阪府立大学社会福祉学部 専任講師 藤 井 博 志</p>
	16:00	閉 会

参加定員： 1,500人

参加費：12,000円

資料代：3,000円

（宅老所・グループホーム全国ネットワーク会員：1,000円/1会員1名のみ）

交流会費：5,000円